

野鳥での高病原性鳥インフルエンザ 道内64例目検出

3月25日に札幌市内で回収された死亡野鳥（ハシブトガラス）1羽から、4月4日、遺伝子検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が確認されました。

道内野鳥から本病ウイルスの検出が続いていますので、家きん飼養農場におきましては、病原体持ち込み防止対策等の強化、徹底に努めて下さい。

☑ 渡り鳥の北帰行に伴い発生リスクが上昇中

☑ 今後、最大限の警戒継続が必要

～ 対策の継続強化 ～

- 1 防鳥ネット、金網、壁、屋根等の点検・補修
- 2 集卵・除糞ベルトの開口部の隙間対策
- 3 排水溝等からの野生動物侵入防止対策
- 4 ネズミ駆除（殺鼠剤、粘着シート等）
- 5 鶏舎立入時の消毒、着替え、履き替え
- 6 異常家きんの早期発見・早期通報
- 7 毎月の自己点検と改善

北海道空知家畜保健衛生所

☎0126-22-4212 ④www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/

時間外、閉庁日の緊急通報は、空知総合振興局 ☎0126-20-0200（繋がるまで呼び出してください）